

Press Release

【報道関係各位】

2022年9月吉日
ポーラ美術館**ポーラ美術館開館 20 周年記念展「ピカソ 青の時代を超えて」開幕**国内外の重要作とともに巨匠の創造の軌跡に迫る！ピカソの誕生日にちなんだイベントも充実
会期：2022年9月17（土）～2023年1月15日（日）

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、2022年9月17日（土）から2023年1月15日（日）まで、開館20周年記念展「ピカソ 青の時代を超えて」を開催します。

本展覧会は、国内でも屈指のピカソ・コレクションを誇るポーラ美術館とひろしま美術館が、これまで欧米の美術館の協力を得て深めてきた作品研究をもとに、制作のプロセスに焦点を当て「描く」ピカソの作品を初期から捉えなおす共同開催展です。

展覧会の期間中は、お笑いコンビ・チョコレートプラネットと学芸員によるスペシャル Podcast や、会場限定の「おしゃべりガイド」を公開。10月はピカソの誕生日にちなみ、ギャラリートークや音楽鑑賞イベントなども開催します。



写真：「ピカソ 青の時代を超えて」展 展示風景（I. 青の時代 — はじまりの絵画、塗り重ねられた軌跡）

【「ピカソ 青の時代を超えて」展について】

いまや20世紀を代表する芸術家として知られるピカソも、かつては自分なりの表現を模索する駆け出しの画家のひとりでした。本展覧会では、ピカソがオリジナリティを初めて確立した「青の時代」を、初期の一様式としてではなく、「キュビズム」をはじめ革新的な表現を次々と生み出していった画家の原点として捉えなおします。《海辺の母子像》（1902年、ポーラ美術館）、《酒場の二人の女》（1902年、ひろしま美術館）をはじめとした「青の時代」の重要作を含む国内外の名作約70点により、初期から「青の時代」を超えた晩年までの画業をご紹介します。

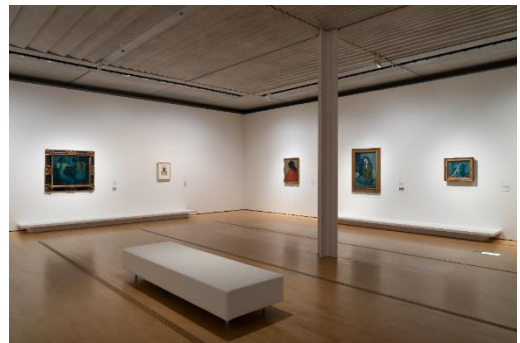
会場構成はトラフ建築設計事務所が担当。科学調査により新たに判明した「青の時代」の塗り重ねのプロセスや下層の分析結果を映像で紹介する“青の時代ラボ”や、南仏に移住後のアトリエをイメージした特別な空間で、映画『ミステリアス・ピカソ 天才の秘密』(1956年公開)より《ラ・グループの海水浴場》の制作場面を上映します。また、林塚真デザイン事務所による会場グラフィックでは、ピカソの主要なポートレートとともに、「青の時代」からキュビズム、新古典主義をはじめとした、作家の画業を辿ることができます。

若くして生と死や貧困と向き合ったピカソの絵画は、今なお私たちの心をゆさぶります。深い精神性をたたえる「青の時代」の傑作を集め、若きピカソの葛藤と格闘の内実をひもときながら、最新の科学技術を用いた調査や研究を通して 20 世紀の巨匠が遺した創造の軌跡に迫ります。

本展覧会では、ピカソの著作権団体のご厚意により、個人による非営利目的の場合に限り、静止画撮影が可能です。撮影したお写真はぜひ、ハッシュタグ #ピカソ青の時代を超えて #ポーラ美術館 とともにぜひ各種 SNS にご投稿ください。



写真：「ピカソ 青の時代を超えて」展 展示風景（プロローグ、1900年の街角—バルセロナからパリへ）



写真：「ピカソ 青の時代を超えて」展 展示風景（Ⅰ．青の時代—はじまりの絵画、塗り重ねられた軌跡）



写真左：青の時代ラボ（Ⅰ．青の時代—はじまりの絵画、塗り重ねられた軌跡）

写真右：「ピカソ 青の時代を超えて」展 展示風景（Ⅱ．キュビズム—造形の探究へ）



写真左：「ピカソ 青の時代を超えて」展 展示風景（IV. 南のアトリエ—超えゆく絵画）

写真右：映画『ミステリアス・ピカソ 天才の秘密』上映コーナー（IV. 南のアトリエ—超えゆく絵画）

※展示風景はすべて ©Ken KATO

【お笑いコンビ・チョコレートプラネットと楽しむ！スペシャル音声コンテンツ】

展覧会の期間限定で、チョコレートプラネットの長田庄平さん、松尾駿さんと当館学芸員による**スペシャル Podcast（全7本）**を配信します。

会場では、配布する二次元コードをご自身のスマートフォンで読み取ると、チョコレートプラネットと学芸員による作品解説が聴ける**「おしゃべりガイド」（全8本）**をご用意。まるでチョコレートプラネットと一緒に作品を見ているような体験を、ぜひお楽しみください。

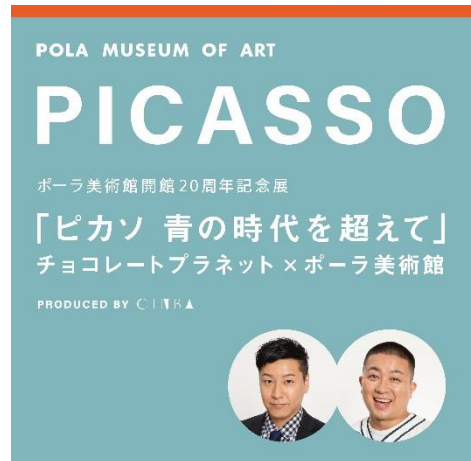
スペシャル Podcast 概要

Spotify、Apple Podcast、Amazon music などの各プラットフォームにて好評配信中！

公開期間：～2023年1月15日（日）まで

URL：<https://anchor.fm/polamuseum>

制作：CINRA, Inc.（企画、キャスティング、台本作成、編集）



【関連イベント】

■ 24歳以下無料ご招待

ピカソの作品を直に鑑賞し、作家の人生に触れていただく機会として、「青の時代」前後のピカソと同年代の皆様を無料でご招待します。ぜひこの機会にポーラ美術館で、若きピカソの奮闘する姿を感じてみてください。

期間：9月30日（金）まで

対象：15歳～24歳の方 ※中学生以下は常時無料

入館の際に、年齢確認ができる身分証明書などをチケットカウンターにてご提示ください。

※15名以上の団体来館は要事前予約（ポーラ美術館／0460-84-2111）

■ 学芸員によるギャラリートーク

本展覧会の担当学芸員の解説とともに、じっくりとピカソの作品を鑑賞してみましょう。

参加をご希望の方は、開始10分前に講堂（B1F ミュージアムショップ奥）にお集まりください。

日時：10月8日（土）／10月22日（土） いずれも14時～15時

定員：30名

詳細および今後の実施予定については展覧会特設サイトにてご確認ください。

■ SUPER AUDIO LIVE 「ピカソ meets マイルス 音楽で交歓する2人の人生」

本展覧会の開催を記念して、アートと音楽を融合させた鑑賞イベントを開催します。プロデューサー・立川直樹氏による選曲と進行のもと、高級オーディオブランド「テクニクス」による最高峰の機材で、臨場感あふれる音楽とともに作品をお楽しみいただけます。

日時：2022年10月22日（土）17:00-19:00

定員：50名（事前申込制）

お申込み：Peatixのイベントページをご確認ください。

<https://picasso22-sal1022.peatix.com/view>

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、イベントの中止・変更の場合がございます。

プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【展覧会概要】

ポーラ美術館開館20周年記念展「ピカソ 青の時代を超えて」

会期：2022年9月17日（土） - 2023年1月15日（日） 会期中無休

会場：ポーラ美術館 展示室1, 3

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館、公益財団法人ひろしま美術館

特別協力：バルセロナ・ピカソ美術館、カタルーニャ美術館、アート・ギャラリー・オブ・オンタリオ

後援：スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京

出品点数：絵画、版画、彫刻ほか 約70点

出品作家：パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、サンティアゴ・ルシニョル、イジドラ・ヌネイ
ほか

展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/picasso2022/>

・本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

・展覧会はこの後、2023年2月4日（土）-5月28日（日）までひろしま美術館（広島県）で開催されます。

【同時開催】

HIRAKU Project Vol.13

村上華子「du désir de voir 写真の誕生」展

会期：2022年9月17日（土） - 2023年1月15日（日）

会場：ポーラ美術館 1F アトリウム ギャラリー

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

協力：タカ・イシイギャラリー、メゾン・ニセフォル・ニエプス

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本



《無題（ニエプスの庭）》2022年

展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/hiraku-project-13/>

■ポーラ美術館について

2002年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から20世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拓いている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：会期中無休 ※悪天候による臨時休館あり

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

入館料：大人 ¥1,800 / シニア割引（65歳以上） ¥1,600 / 大学・高校生 ¥1,300
中学生以下無料 / 障害者手帳をお持ちのご本人及び付添者（1名まで） ¥1,000
※すべて税込 団体割引あり

公式サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

＜報道関係者お問合わせ先＞

ポーラ美術館 広報担当：田中・稲見 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108
ポーラ美術館広報事務局：屋木・平松 TEL: 070-2161-7023
Mail:polamuseum.pr@prap.co.jp